

## あとがき

今年の産業利用報告会は初めての試みとして、従来別々に開催されていた産業利用報告会と SPring-8 シンポジウムの合同開催を利便性の良い東京駅で行いました。従来の産業利用報告会の主催 3 団体 (JASRI 殿・兵庫県殿および SUNBEAM 共同体)に加え、SPring-8 利用者懇談会が加わり準備・発表もいろいろたいへんでしたが、会場には多くの方に足を運んでいただき、盛況のうちに終えることができました (のべ参加人数産業報告会 250 名, SPring-8 シンポジウム 170 名)。参加者のアンケートも好評のようであり来年も同様の形式で続けることになりそうです。ご参加いただいた方々ならびに運営等でご協力いただいた方々には御礼申し上げます。

今年の発表内容は、従来通りの各社利用・研究報告 (20 件) と共同体活動としてイメージング SG より 1 件の発表がありました。各社利用・研究報告では、*in situ* 測定および二次元測定など従来の点での測定から空間・時間軸を含んだ面での測定が多くなってきており、サンビーム共同体各社の技術向上を感じさせるとともに今後の測定技術開発の方向性を示す内容だと感じられました。

今回は設備更新を終えてから初めての産業利用報告会だったこともあり、新規装置の特徴を生かした成果例がちょっと少なかったように思われましたが、来年度以降は新たに導入した設備を用いた成果がどんどん出てくることを期待しています。昨年度の「大きな節目」である設備更新および契約更改については皆様のご協力により無事山を越すことが出来、今後は新たに導入されたパワーを加えて気持ちも新たに、サンビーム共同体としての更なる発展を目指していきたいと考えております。これまでも増してご支援ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。

共同体技術 WG 主査 川村朋晃  
(日亜化学工業(株))

今回報告書の編集を初めて担当させて頂きました。関係各位の多大なる御支援のもと、なんとか年度内に発行することが出来ました。本報告書が、各社の研究・開発、並びに、SPring-8 の産業利用の拡大に、少しでもお役に立てば幸いです。本報告書発行にあたり、お忙しい中、各種資料の執筆を快諾して頂いた皆様、発表資料の早期提出に協力して頂いた発表者の方々には、大変お世話になりました。また、陰ながら、編集及び発行に尽力して頂いた関係者の皆様にも、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

産業利用報告会報告書編集担当 野村健二  
(株)富士通研究所)



口頭発表会場

ポスター発表会場